

TOWADA AKITA



ROTARY CLUB

国際ロータリー第2540地区

十和田秋田ロータリークラブ会報

第2773回 例会

2025年 2月 20日

2024-25年度国際ロータリー
ステファニー・マーチック 会長方針

会 長 高 橋 正 行
幹 事 竹 澤 茜
例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分
例会場 ホテル鹿角 TEL 0186-37-4111
事務所 秋田県鹿角市十和田毛馬内字毛馬内7
TEL・FAX 0186-30-3939



会 員 数 27名

出 席 者 12名

メ ニ ュ ー

- ・天重
- ・刺身
- ・なすの煮浸し
- ・かき玉スープ
- ・香物
- ・デザート



《会長挨拶》

国スポも終わり、落ち着いたかなと思いましたが、寒波が立て続けに来ており、日本海側も大変なことになっているようですが、こちらにも被害が出ているので、気を付けてください。今年1月より入会していただきました、柳沢智也さんにバッジ授与したいと思います。



《幹事報告》

- ・五城目 RC、横手南 RC の 60 周年記念式典のご案内について
- ・次年度役員名簿について

《会員卓話》 柳沢 誠 君 会員増強について

クラブ会員増強委員会の役割は、クラブが、誰をも温かく歓迎し、積極的な参加を促し、楽しい体験を現会員や入会候補者に提供できる手助けをし、目標を達成するための実行項目を含めたクラブの会員増強計画を立てることです。クラブの規模に応じて、意欲ある5~15名の会員が会員増強委員となり、計画の実施にあたります。委員会の活動を成功に導くには、多様な視点を取り入れ、会員や地域社会を反映した構成とし、年度ごとの継続性を保つために委員の任期をずらすことが大切です。以下のチェックリストを利用して、ロータリークラブまたはローターアクトクラブの会員増強計画の一助としてください（留意点：大学を基盤とするローターアクトクラブの場合、大学の方針に従って会員増強活動を行い、大学と全面的に協力する必要があります）



クラブの健康チェック

健康を維持し、病気を予防するには、定期的な健康診断が欠かせません。これと同じように、クラブが地域社会にとって大切な存在であり続けるためには、クラブを定期的に診断して問題点を見つけ、その対処法を探ることが極めて重要です。

各健康チェックポイントについて当てはまるものに印をつけ、まずはクラブの健康度をチェックしてみましょう。



健康チェックポイント1: クラブでの経験

クラブで充実した時間を過ごしている会員は、おそらく退会を考慮することはないでしょう。会員に熱意があれば、周りにもそれが伝わり、クラブ全体の活気が高まります。大切なのは、例会や専任活動に参加するだけでなく、会員が仲間との交流を楽しみ、ロータリーへの誇りを抱くことです。

私たちのクラブでは……

- 私は例会を楽しみにしている。
- 例会の内容は、興味深く、意義があり、多様性に富んでいる。
- 例会で会員やゲストを迎え入れる挨拶係がいる。
- 例会はしっかりと企画、運営されている。
- 例会で会員が毎週違うテーブルにつき、違う会員と話せるようにしている。
- 「親友」と呼べる仲間がいる。
- 役員だけでなく、ほかの会員も地区や国際的なロータリー行事に参加している。
- ほとんどの会員がロータリーのポリオ撲滅活動とその進展について知っており、ロータリーの一員として貢献していることに誇りを抱いている。
- 会員はロータリー財団に寄付している。
- 会員は自分が支援したいと望む活動や分野に寄付している。
- 毎月、会員や地元市民の貢献を称えたり、紹介したりしている。
- ロータリーを通じて、海外とのネットワークを築いている。
- 常に新しいことに挑戦している（活動、例会の内容や形式、観戦など）。

診断は次のページへ